

2023年5月10日

2023年度統計関連学会連合大会のお知らせ（第三報）

運営委員長 竹内光悦（実践女子大学）
実行委員長 西山慶彦（京都大学）
プログラム委員長 橋口博樹（東京理科大学）

2023年度統計関連学会連合大会（京都大学吉田キャンパスで開催予定）について、現時点での進捗状況をご報告いたします。今大会は応用統計学会、日本計算機統計学会、日本計量生物学会、日本行動計量学会、日本統計学会、日本分類学会の6学会主催により開催されます。初日の9月3日（日）はチュートリアルセッションと市民講演会、2日目以降（9月4日（月）～7日（木））は一般講演や企画セッションなどを開催する予定です。

なお新型コロナウイルスへの感染症の対応につきましては、「5類」に移行されたことから、特別な対応については予定していませんが、感染状況に注意しながら政府と大学の動きを踏まえて対応していきます。感染予防につきましては引き続きご協力のほど、よろしくお願いたします。この第三報では、チュートリアルセッション、市民講演会、企画セッション、コンペティションセッションなどの概要を項目ごとにご紹介いたします。今後、連合大会のウェブページ

<http://www.jfssa.jp/taikai/2023/>

に関連情報や詳細情報を随時掲載していきますのでご覧ください。

1. 開催方式と講演申込のご案内

講演申込の期間については5月10日（水）から受付を開始する予定です。講演申込の詳細につきましては連合大会のウェブページをご確認ください。講演申込は昨年度までと同様にConfitというWebシステムを使いますので、上記の連合大会ウェブページから行ってください。講演申込締切は【6月1日（木）17:00 厳守】となります。

2. 大会日程・開催場所・各種受付期間

大会日程	9月3日（日）：市民講演会とチュートリアルセッション 9月4日（月）～7日（木）：本大会
開催場所	京都大学吉田キャンパス
主催	応用統計学会、日本計算機統計学会、日本計量生物学会、

	日本行動計量学会、日本統計学会、日本分類学会
講演申込	5月10日(水) 11:00～6月1日(木) 17:00 厳守
報告集原稿提出	6月5日(月) 11:00～6月23日(金) 17:00 厳守
事前参加申込(割引料金)	6月5日(月) 11:00～8月21日(月) 17:00 厳守
通常参加申込(通常料金)	8月21日(月) 17:00～当日 ※当日現地会場では参加申込受付しません。

3. 講演の申込

講演には次の種類があります。

- ・一般講演
- ・企画セッション講演
- ・コンペティション講演

申込方法は、すべての講演に共通の事項と種類ごとに異なる事項があります。ご注意ください。

(1) すべての講演に共通の事項

講演をご希望の方は、連合大会のウェブページからお申し込みください。これ以外の申込方法はありません。申込ページでは、「一般講演」、「企画セッション講演」、「コンペティション講演」のいずれかを選択してください。原則として、申込は講演者が行ってください。ただし、「企画セッション講演」に限り、オーガナイザーが講演者に代わって申し込むことも可能です。

(2) 「一般講演」に関わる事項

通常の講演は「一般講演」として講演者がお申し込みください。ウェブページ上の講演申込手順に従って申込をしてください。プログラム編成の際の参考にしますので、関連分野を第一希望から第三希望までご選択ください。また講演者(連名講演者を含む)のうち、少なくとも1名は主催6学会のいずれかの会員であることが要件です。

(3) 「企画セッション講演」に関わる事項

企画セッション講演者は、予めオーガナイザーから連絡を受けた整理番号に対応するセッションを申込ページの整理番号欄にて選択してください。例えば、整理番号が12であると連絡を受けた講演者は、「企画セッション講演 12」を選択してください。なお企画セッション講演者(連名講演者を含む)については、主催6学会いずれかの会員であることを要件としません。

オーガナイザーが代理で申し込む場合は、それぞれの講演の申込を1件ずつお願い

いたします。

(4) 「コンペティション講演」に関わる事項

コンペティション講演は、研究内容とプレゼンテーションの能力を競う企画です。参加資格は、次のいずれかの条件を満たす方です。

(a) 2023年4月1日時点で30歳未満の若手研究者（博士後期課程院生を含む）

(b) 講演時に学部学生や修士課程（または博士前期課程）院生（年齢は問いません）
上記(2)と同様に、関連分野を第一希望から第三希望までご選択ください。

連名講演の場合、コンペティション対象者は実際に口頭発表する方です。またコンペティション対象者は、講演申込時に主催6学会のいずれかの会員でなければなりません。ただし入会申請中の方も認めます。プログラム委員会から各学会事務局に会員照会し、会員（もしくは入会申請中）でないことが判明した場合は、コンペティションへのエントリーを取り消しますので、十分にご注意ください。講演申込締切日までに会員もしくは入会申請中の状況にしておいてください。

審査は複数名の審査委員による5段階評価にもとづく投票で実施する予定です。選考はプログラム委員会で行います。審査では、研究内容とともに、研究発表のプレゼンテーションについても評価します。発表者が十分に準備・工夫し、充実したプレゼンテーションであることを期待しています。原則として、最優秀報告者1名、優秀報告者数名程度を選考します。

コンペティションセッションは、9月4日（月）～6日（水）（予定）に現地対面の形式で開催し、9月7日（木）に表彰式を行う予定です。なおコンペティション応募総数は年々増加傾向にあり、プログラムを組むのが難しくなっています。したがって、今年度も申込順で受け付け、応募状況によってはコンペティション参加件数を制限することがあります。

(5) 講演言語の選択欄

講演申込のページの講演言語欄では、「日本語・英語のどちらでもよい」、「日本語」、「英語」、のいずれかを選択してください。

(6) 希望発表形式の選択欄

企画セッションは、「オンライン」（オンラインでの遠隔からの発表）、または「現地」での発表のいずれかを選択してください。一般公演では、【「現地」のみ】での発表となります。「オンライン」での発表はございませんのでご容赦ください。

4. 講演報告集用原稿の提出

(1) 「一般セッション講演」、「コンペティション講演」に関わる事項

報告集用の原稿はA4サイズで1ページです。インターネット経由で電子ファイル(PDF形式)を提出していただきます。「2. 大会日程・開催場所・各種受付期間」をご参照の上、原稿提出期間を厳守してください。今年度の予稿集は昨年度までと異なり、**【紙媒体での配布はせずに、オンラインのみでの閲覧・配布】**となります。昨年度までの各講演のPDF閲覧・配布と同様に、予稿集全体をシステムにログイン後に閲覧・配布となります。オンライン上の予稿集での公開を希望されない場合はタイトルと著者名のみのページとしますので、報告用原稿提出時に、その旨ご指示ください。

(2) 「企画セッション講演」に関わる事項

原則として、講演者が提出してください。書式・提出期間等は、上記(1)と同じです。オーガナイザーが代理で提出する場合は、セッション内の各講演について、上記(1)と同様にして1件ずつ原稿を提出してください(「2. 講演の申込 (3)「企画セッション講演」に関わる事項」も参照)。その場合、オーガナイザーは、期限内に原稿を提出できるようなスケジュールで講演者に原稿作成・提出を依頼してください。詳細は、別途オーガナイザーに送付している資料等をご参照下さい。

(3) すべての講演に共通の事項

講演種別にかかわらず、ご希望の方は、報告集用原稿とは別に、各講演のページに掲載する詳細論文を受け付けます(A4サイズ、最大10ページまで、PDF形式、ファイルサイズは1MB以内、フォント埋め込み)。詳細論文ファイルを上記(1)と同じタイミングで提出していただきます。報告集用原稿および詳細論文の執筆要領については、上述の連合大会ウェブページをご覧ください。

(4) その他

別途購入費が必要となりますが、希望者には講演報告集を郵送にてお届けする予定です。希望される方は連合大会ウェブページにて詳細をご確認ください。

5. 企画セッションのご案内

学会や個人等から申請のあった30件の企画セッションが予定されています。整理番号、テーマ名、オーガナイザーの氏名・所属は以下の通りです。各テーマのねらいや講演者・講演タイトルなどについては、後日連合大会のウェブページに掲載される情報をご参照ください。

なお企画セッションの運営はオーガナイザーに一任していますので、テーマについてのお問い合わせは、各オーガナイザーにお願いいたします。企画セッションの日程はプログラム作成時に決定いたします。

(整理番号)、テーマ名(セッション名)、オーガナイザー(敬称略、所属は申込情報を基に作成)

- (01) ビジネスにおけるデータ科学の応用(松田安昌(東北大))
- (02) 統計エキスパート人材育成ー多様な分野での統計活用と発展(中西寛子(統数研))
- (03) 統計数理研究所医療健康データ科学研究センター「医療健康データ科学のフロンティア」(松井茂之(名古屋大・統数研)、伊藤陽一(北海道大)、田栗正隆(東京医科大)、三分一史和(統数研))
- (04) アカデミアと企業との共同研究(川野秀一(九州大)、藤澤洋徳(統数研))
- (05) 個別化医療に向けたヘルスデータサイエンスの実践：臨床予測モデルの最前線(手良向聡(京都府立医科大)、松山裕(東京大))
- (06) 応用統計学会企画セッション「高次元統計解析の最近の発展」(西山貴弘(専修大)、山本紘司(横浜市立大))
- (07) 日本計算機統計学会 企画セッション 『医療ビッグデータと疫学・統計の実際』(弘新太郎(ファイザーR&D合同会社))
- (08) アクチュアリアル・データサイエンスの広がり(清水泰隆(早稲田大))
- (09) 応用統計学会 学会賞受賞者講演(南美穂子(慶應義塾大)、星野崇宏(慶應義塾大))
- (10) 統計情報研究開発センター統計・データサイエンス力向上のための授業に係る優秀事例表彰授賞式・記念講演(會田雅人(統計情報研究開発センター))
- (11) 日本統計学会 会長講演、各賞授賞式、各賞受賞者記念講演(大森裕浩(東京大))
- (12) 日本統計学会 各賞受賞者記念講演(大森裕浩(東京大))
- (13) 確率微分方程式モデリングのための統計ソフトウェア開発プロジェクトYUIMAにおける最近の成果の紹介(小池祐太(東京大))
- (14) 統計改革の新天地平 ー経済活動の構造変化をどのように捉えるかー(1)(肥後雅博(東京大))
- (15) 統計改革の新天地平 ー経済活動の構造変化をどのように捉えるかー(2)(肥後雅博(東京大))
- (16) 公的統計のデータ構造化とマイクロデータ分析の展開(南和宏(統数研)、伊藤伸介(中央大)、高部勲(立正大))
- (17) 統計・データサイエンス領域の研究・実践における多様性の育成(多様性推進特別)

委員会、女性統計家・データサイエンティスト育成分科会)

- (18) データサイエンス系学部の現況 (椎名洋 (滋賀大))
- (19) 大規模データのプライバシー保護を目指した秘匿措置の展開可能性 (佐井至道 (岡山商科大)、星野伸明 (金沢大)、伊藤伸介 (中央大))
- (20) アカデミックにおける多様性と多様性推進の取り組みについて (南美穂子 (慶應義塾大))
- (21) AI・デジタル時代に向かう統計・データサイエンス教育方法論の新展開 (竹内光悦 (実践女子大)、藤井良宜 (宮崎大)、渡辺美智子 (立正大))
- (22) ベイジアンモデリングの進展 (入江薫 (東京大))
- (23) 日本計量生物学会奨励賞受賞者講演 (川口淳 (佐賀大)、口羽文 (神奈川県立保健福祉大)、長谷川貴大 (塩野義製薬)、横田勲 (北海道大))
- (24) プレナリーセッション (荒木由布子 (東北大)、各務和彦 (名古屋市立大))
- (25) 地震ビッグデータ解析の最前線 (長尾大道 (東京大)、加藤愛太郎 (東京大)、矢野恵佑 (統数研))
- (26) アジアの公的マイクロ統計の活用 (馬場康維 (統数研)、岡本基 (統数研))
- (27) 社会的関心の高い問題における統計家の貢献と社会的使命～ヒトパピローマウイルス (HPV) ワクチンの安全性評価を題材にして (吉村健一 (広島大)、大津洋 (順天堂大))
- (28) 偏りのあるデータに対する解析手法の最前線 (森川耕輔 (大阪大)、菅澤翔之介 (慶應義塾大))
- (29) 日本計量生物学会シンポジウム「計量生物学と生態学の新展開」 (島津秀康 (Loughborough University))
- (30) ソフトウェアデモンストレーションセッション (竹内光悦 (実践女子大))

6. プレナリーセッション・チュートリアルセッション・市民講演会について

プレナリーセッション

日 時：2023年9月4日(月) 午前【ハイブリッド形式】

オーガナイザー：荒木由布子(東北大学)、各務和彦(名古屋市立大学)

座長：各務和彦(名古屋市立大学)

講演者：Prof. Jeng-Min Chiou (National Taiwan University; Academia Sinica)

タイトル：Multiple change-point detection in functional data

日本統計学会では科学研究費補助金：国際情報発信強化 (B) 「日本統計学会欧文誌から国際的新雑誌への発展を計る取組」による補助を受け、2年に1回の頻度で統計関連学会連合大会プレナリーセッションを企画しています。本セッションは、本計画に基づき、

Prof. Jeng-Min Chiou (National Taiwan University; Academia Sinica)を招聘し、プレナリ一講演：Multiple change-point detection in functional dataを企画します。講演は英語で行われます。2名の指定討論者（荒木由布子（東北大学）、今泉允聡（東京大学））を予定しています。

市民講演会

今回の市民講演会では、「統計学を哲学する」の著者である大塚先生にご講演いただけることになりました。科学的探求における統計学の意義と、その進展が今後及ぼす我々の科学観への影響について、哲学的観点からご講演いただきます。

日 時：2023年9月3日（日） 13:00～14:30【ハイブリッド講演】

タイトル：AI以降の科学を考える

講演者：大塚 淳氏（京都大学）

概要：統計学は、「データから仮説を正当化する装置」として、現代科学において必要不可欠な役割を担ってきました。しかし近年のAI技術の急速な発展を受けて、科学と統計学の関係性は今後大きく変わっていくことが予想されます。人間の理解を遥かに超えた膨大なデータから導き出される結論は、いかなる意味で「科学的」と言えるのか。こうした問いは、単に科学的実践のあり方だけではなく、近代以降続いてきた「合理的かつ客観的な営み」としての科学観そのものへの再考を促します。本講演では、AI以降の科学のあり方について、共に考えてみたいと思います

チュートリアルセッション

今回のチュートリアルセッションでは、自然言語処理、人工知能、機械学習の分野でご活躍の岡崎直観先生をオーガナイザーとして、「言語モデルと自然言語処理のフロンティア（仮題）」と題して複数の講師の方々からご講演を行っていただく予定です。

日 時：2023年9月3日（日） 15:00～18:00（休憩時間を含む）【ハイブリッド講演】

テーマ：言語モデルと自然言語処理のフロンティア（仮題）

オーガナイザー：岡崎直観氏（東京工業大学）

講師：（調整中）

7. 参加申込と大会参加費

参加登録については大会ウェブページからの申込のみとなります。現地での参加申込受付は致しません。円滑な大会の運営のためにも、また参加費割引のためにも、事前参加申込をご利用ください。受付期間は「2.大会日程・開催場所・各種受付期間」を参照してください。事前参加申込の場合、参加費が大幅に割引になりますのでぜひご利用ください。

大会参加費（報告集代を含む）

	事前参加申込	通常参加申込
会員（主催 6 学会の会員）	7,000 円	10,000 円
学生（会員・非会員を問わず）	3,000 円	8,000 円
学生以外の非会員	15,000 円	20,000 円

チュートリアルセッション参加費（資料代を含む）

	事前参加申込	通常参加申込
会員（主催 6 学会の会員）	3,000 円	4,000 円
学生（会員・非会員を問わず）	2,000 円	3,000 円
学生以外の非会員	6,000 円	8,000 円

懇親会参加費

	事前参加申込	通常参加申込
一般（会員・非会員を問わず）	10,000 円	12,000 円
学生（会員・非会員を問わず）	5,000 円	6,000 円

※会場の都合により、懇親会参加は先着 90 名様とします。事前参加申込が 90 名に満たない場合は通常参加申込も受け付けます。

【注意】

- (1) 講演申込をされた方も参加申込の手続きが必要です。
- (2) これまでの大会と同様に、事前申込のキャンセルと変更は認められません。
- (3) 主催 6 学会の会員以外の方が、企画セッションや特別セッションでオーガナイザーから依頼されて講演される場合、大会参加費は無料となります。
- (4) 市民講演会は無料です。
- (5) 報告集およびチュートリアルセッション資料の紙媒体での購入をご希望される場合は、参加登録のページからお申し込みください。
- (6) 昨年度と同様に、企画セッションでのオンラインでの発表者の方には、チュートリアル・市民講演会の開催日（9月3日（日）、予定）にテスト会場を準備する予定となっておりますので、ご利用ください。

8. 宿泊・アクセス案内

今大会では宿泊の斡旋はいたしません。各自で早めに宿泊の予約をお済ませください。大会会場の京都大学吉田キャンパスへのアクセスについては上述の連合大会ウェブページをご覧ください。

9. 託児施設の利用案内

本大会では、託児施設を利用される場合予算内にてその費用を補助する運びとなりました。本大会に対面参加し託児所利用費の補助を希望される方は、以下の(1)~(3)の手続きを行ってください。

手続きに必要な託児所利用補助申請書と託児費用申請書は、大会ウェブサイト内の「宿泊・観光」ページでダウンロードできるように調整しています。お待ちください。

- (1) 8月20日(日)までに託児所利用補助申請書を下記の担当にメールにてお送りください。
- (2) 託児所の選定・予約は、各自で行ってください。
- (3) 9月15日(金)までに託児費用申請書と領収書(原本)を申込・問い合わせ先の担当に郵送してください。

申込・問い合わせ先

担当: 2023年度統計関連学会連合大会実行委員会

E-mail: jikkou2023(at)jfssa.jp (at)を@に置き換えてください。

なお、予算の関係上、全額の補助ができない場合がありますので、ご了承の程お願いいたします。